

■委員会で出された施策に関する意見

	第1回委員会	第2回委員会	求められている取組
全体を通して		<ul style="list-style-type: none"> ・「区民が主役」というメッセージを全面に出していきたい。 ・区民・事業者、行政が取り組むことが分けているのは良いが、全ての項目にあるがゆえに無理がある。無理に全ての項目に入れる必要はないのではないか。 ・全体を通して、働き方改革や災害の多発、少子高齢化など全ての項目が時代背景を含め、取組を見据えた方が良いのではないか。 ・次の10年は更に時代が読めないで、そのようなことを見越して、考えた方がより現実的な施策ができるのではないか。例えば、空き家の問題なども新たに追加すべきではないか。 	
みなみ力が息づくまち	<ul style="list-style-type: none"> ・集合集宅の住民や若い世代が町内会に加入しない。 ・高齢者の中には町費が払えないという声も聞く。 ・マンション住民や新しく住民となった方々などのコミュニティ問題。 ・南区に対する誇りや愛着を伸ばしていくことも大事。 ・外部からの目線では、京都市の中で南区のイメージがあまりない。 ・「みなみ力」という言葉は活かしたい。 ・南区の中でも地区別の特徴、違いを見せる。 ・南区は15学区とまとまりが良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の委員会の時にも触れたが、地域の愛着・誇りを醸成するような取組があればいいのではないか。 ・地域力ではなく「コミュニティ」や「まちづくり」などの項目が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人の町内会加入を促進する取組 ・南区に対する誇りや愛着を醸成する取組
子ども・若者が育つまち	<ul style="list-style-type: none"> ・南区はよく言えば若い世代に選んでもらっている。 ・小中学校では低学年と高学年の交流も盛んで、小さい子を育てるという感覚が育っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生がまちづくりに参画できるような工夫、また基本計画に学生の意見も反映できるような工夫が必要。 ・子育てサロンの取組について、回覧版、HPだけではなかなか区民に届かない。 ・母子手帳を交付する際に子育て施設や子育てサロンの案内を同封するなどの工夫が必要ではないか。 ・子育て若者について、高齢者の知恵も含めて地域全体で子どもを見守ることができればよい。 ・こどもの遊び場の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサロンの情報を確実に区民に届ける(回覧板、HP以外) ・こどもの遊び場の充実 ・子どもとお年寄りの交流の場の確保(ふれあいサロン以外)
健やかに暮らせるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・保健福祉の分野では、行政の担当課の体系が複雑で縦割りになっている部分もあるため、役所内で全体の交通整理をしてくれるような窓口が必要。 ・お年寄り子どもが元気なまちを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人、高齢者や障がい者などを含めた多様な人が安心して住めるまちとなれば素敵なまちになる。 ・小学校で高齢者が昔遊びを教え文化継承を図っている。歴史の語り部さんに来てもらってはどうか。 ・地域の企業は、働き手不足で悩んでいる。高齢者と企業をつなげるような仕組みがあると地域活性化につながる。 ・高齢者に関して、高齢者を見守り、支え合う以外に、「高齢者も主役」という打ち出しも入れる。 ・引きこもりや悩みを抱えている方など様々な立場の方の理解を促し安心して暮らせるまちという視点も重要。 ・お年寄りふれあいサロンのように子どもと高齢者が交流できる場があれば、高齢者も積極的に外に出てくれるのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所内の案内機能の充実 ・小中学校で高齢者の知識や経験を活かす ・子どもとお年寄りの交流の場の確保(ふれあいサロン以外)(再掲) ・高齢者と企業をつなぐ仕組み ・公共交通の利便性向上
美しいまち	<ul style="list-style-type: none"> ・区民による一斉清掃は効果を上げており、取り組みが浸透している。 	<p>【美化活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の学区にない一斉清掃に取り組んでいるが、もう少し異なる取組や学区ごとの取組などがあれば加筆したい。 ・一斉清掃においても、同じメンバーしか参加してないため、何か特典があれば参加しやすくなるのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学区毎の取組 ・一斉清掃のメンバーを広げる方策(特典の付与)

	第1回委員会	第2回委員会	求められている取組
いのちと暮らしを守るまち	<ul style="list-style-type: none"> ・水防団あるいは消防団の中に水防の専門が必要。 ・「安心」というキーワードが様々な分野を包含する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な取組の内容が上辺的で薄い。具体的な取組内容のレベル感がバラバラで分かりにくい。 【交通マナー・ルール】 ・交通ルールが守られておらず、レンタサイクルを利用する外国人もいるので、ステッカーを張るなど交通ルールを改善する工夫が必要。 ・交対協が自転車マナーの啓発に取り組んでいるので計画に反映する。 ・駐車違反や交通マナーを守る啓発活動も必要である。 【防災】 ・災害時に備えて、企業と提携しているのか。区民には認知されていたので、公表する仕組みをつくってほしい。 ・「レジリエンス」の要素は必要。例えば、行政が機能不全に陥らないように日頃から備えること、すぐに避難所に駆け付けられるように地域と連携をとる、一部の人だけでなく若い人も含めて消防団とともに避難訓練に取組など、事前の対策のみならず事後の対応も含めて災害に強いまちづくりとして打ち出せばいいのでは。 ・防災情報の共有と簡単に書かれているが、もう少し具体化した方がいいのではないかと。 ・災害ゴミについて、緊急車両が通ることを考えてゴミの置き場を指定しておく必要があると思う。まずは生活基盤として道路のごみは移動させることを行政から推進してもらいたい。避難所ついて、ペットをどうするかという議論もある。 ・避難所の訓練やマニュアルなども作成しているが、学区、地区単位で防災に取り組んでいく必要がある。 ・各学区の避難所や緊急連絡先、災害ゴミの置き場などの情報をまとめたものをつくってはどうか。 ・塔南高校も防災の取組に頑張っていると聞くので、高校生も含めて様々な人が関われるような工夫が必要。 【防犯】 ・防犯について、防犯メール以外にも高齢者にも分かりやすく発信ができれば良い。 【空き家】 ・空き家所有者が改築し、民泊が増えていることも問題になっている。 ・唐橋学区では空き家の所有者の確認や、年間4～5万円の補助を受け、夜のパトロールや研修などを実施。取組の背景として、空き家の台風被害がきっかけとなった。 ・学区ごとで空き家対策に取り組めないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通ルール改善の工夫（自転車、外国人観光客） ・災害時の企業と地域の連携 ・防災情報の共有方法 ・学区レベルでの災害対策 ・水防活動の充実 ・防災の取組への学生の参加促進 ・学区毎での空き家対策の推進

<p>活力あふれるまち</p>	<p>【土地利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地が宅地に転用され農地が減少することで京野菜といった南区らしさが薄れ、住工混在の雰囲気もなくなる。 ・畑が宅地に転用されているなど、転用の余地があることも特徴の一つ。 ・居住と農業の調和のとれたまちを目指すべき。 ・人口が増加していることはいいことだが、工場がなくなることで税収は減少する。 ・病院、開業医、ショッピングなどあらゆるものが揃っているわりに家賃が安いことが特徴。 <p>【観光公害】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家が増えており、空き家も民泊に変わっている。 ・観光客によるごみ問題。 ・観光によって昔から住んでいるお年寄りたちがいないがしろにされている。 ・海外からの観光客が登校中の児童を勝手に写真に撮っていたりする。 <p>【企業と地域の関わり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界的企業が立地し、工場が多いが、区民と企業とのつながりはほとんどない。 ・災害時などの企業の力を地域のために活かす仕組みがあれば、地域としてもっと活性化につながる。 <p>【公共交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所により公共交通の利便性に差が生じている。 ・国道は3本、鉄道はJR、阪急、近鉄が通っており利便性は良い。 ・高齢者が免許返納した後でも安心して暮らせる交通手段が必要。 	<p>【産業振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業家同友会をはじめ地域で頑張っている団体が多いのもっと利用させてもらえればいいのでは。 ・京都市には「地域企業宣言」があるので、その言葉を入れてもらいたい地域企業が地域を盛り上げるという視点を取り入れられたらと思う。 ・同友会では、お祭りで花火を上げたいという意見があった。花火をあげて心を一つにできるような活動ができれば求心力が高まるのではないかな。 ・事業の継承という点で、産業を次世代につなげていく、若者の企業を応援、チャレンジできるまちという視点も必要ではないかな。 <p>【公共交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分野の中には公共交通の項目があってもいいのではないかな。 ・公共交通は、「健やかに暮らせるまち」の分野には入れ込むべきではないかな。 ・上鳥羽の介護施設で買い物支援としてコミュニティバスの運行を行っている。社会福祉法人と地域が連携しそのような取組を広げられないかな。 ・新しい交通体系や民間と協働で取組むコミュニティバスなどに紐づけて大枠で考えることが重要である。 ・道路空間の整備では、道路空間だけでなく鉄道やバスなどあらゆる公共交通が安心して移動できるという点を打ち出せばいいのではないかな。あるいは「歩くまち京都」に照らし合わせて、公共交通の利便性を高めるためにマップづくりなどのソフトも含めて打ち出した方がいいのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業が地域を盛り上げていく取組 ・若い企業のチャレンジを応援する取組 ・高齢者と企業をつなぐ仕組み(再掲) ・公共交通の利便性を高めるための取組(再掲)
<p>多文化共生</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術も大切な視点だが、「舞い咲くまち」というタイトルの「舞う」がピンとこない。 ・記述が少ないように感じる。伝統文化等もあるが、日々の暮らしの中に息づく文化も次世代に引き継いでいくという視点も大切ではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の暮らしの中に息づく文化を次世代に引き継ぐ取組